

キャラクター名	プレイヤー名
"蒼顔無垢"サヤカ・ブルーブラッド	

種族	ナイトメア	種族特徴	異貌、弱点[土、銀+2]		
生まれ	戦士	性別	女	年齢	55
冒険者Lv	13	経歴	年の離れた友人がいる (いた)		
経験点	11660		身体に傷痕がある 物心ついた時には独りだった		

技	8	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	11	5		24 + 2	4				
体	13	敏捷度	11	15		34 + 2	6	プリースト/始祖神/ライフォス	5		
		筋力	4	7		24	4	セージ	1		
心	9	生命力	4	8		25	4	エンハンサー	8		
		知力	3	2		14	2	ライダー	1		
		精神力	7	5		21	3				

戦闘特技		言語	会話	読文
タフネス	2122 p	交易共通語	○	○
バトルマスター	3143 p	汎用蛮族語	○	
武器習熟/アックス	221 p	ザルツ	○	○
かばう	224 p			
防具習熟/非金属鎧	222 p			
武器習熟II/アックス	221 p			
なぎ払い	3146 p			
マルチアクション	2125 p			
足さばき	2120 p			
	p			
	p			

練技/呪歌/騎芸/賦術	
オウルビジョン	
マッスルベアー	
ガゼルフット	
キャッツアイ	
リカバリィ	
ジャイアントアーム	
シェイプアニマル	
ワイドウィング	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	13	17	19	17
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要 ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	アラミドコート	5	1	2
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				1
回避技能	ファイター	合計値	20	3

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
デスサイズSAYAKAスペシャル <small>特殊動作でPPを消費することで、追加ダメージ/オーブ/ドメイン/必要筋力/威力/回避の調整、命中、追加ダメージ</small>	2H	20	2	2d+ 19	11	29	45										
ナイフ	1H投	1		2d+ 17	10	17	1										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
10 m	41 m	123 m	2d+ 20	3	79	神聖魔法	5	7			
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+	3	2d+	0	38							

装備品	説明	装備品	説明
頭 バンダナ (アリスの視認のリボン付き)	ナイトメアの角を隠している		
耳 通話のピアスの片割れ	ラバンと繋がっている		
顔 グラスノストール			
首 水晶の首飾り	毒・病気に対する生命・精神抵抗力+1		
背中 サーマルマント	温度変化から身を守り、炎、氷、水属性ダメージを-1		
右手 疾風の腕輪			
腰 ティンダーしっぽ	主動作で振ることで小さな火をおこせる	左手 宗匠の腕輪	
足 韋駄天ブーツ			
その他聖印のロザリオ(カルのルーン付き)	デスサイズの威力が+5され、ダメージボーナスに魔力点が加算される		

その他メモ	自動失敗 チェック
サヤカはナイトメアとして生まれ、孤児としてザルツの地方のとある教会に引き取られた。しかし、預けられた教会がライフォスを信仰していたため、教会内で迫害されてしまう。彼女に与えられたサヤカ・ブルーブラッドという名前は蔑称であり、「目も髪も青いこいつが人族と同じ赤い血が流れているわけがない。青い血の流れている化物だ」という意味が込められている。	□□□□⑤
しかし、彼女はライフォスを信仰することを選び、神官になりたいと訴える。処分に困った教会は、蛮族を2500匹狩れば神官にしてやると契約を交わす。その言葉を信じたサヤカは冒険者となる。心優しいサヤカはコボルトすらも殺すことができず、PTのお荷物として嘲笑らわれていた。彼女も思い悩み、酒を飲んで気持ちを高揚させる方法を選び、最初のうちは上手くいっていたが、次第に飲酒の量が増えて行って依存してしまうことになる。普段は元気な娘だが、いざ酒を飲めば猟奇的に死を恐れることなく戦う。冒険中に購入した自らの命を削るデスサイズのおぞましい見た目もあり、いつしか彼女と一緒にPTを組む人族はいなくなっていた。	□□□□⑩
それでも、彼女は戦い続け、15年もの歳月をかけてついに2500匹もの蛮族を狩ってみせる。だが、そんな彼女を待っていたのは小さな聖印1つだった。彼女は神官にはなれたが、友人は失ったのだ。この時、サヤカは怒りと悔しさのあまり、自分に聖印を与えた神官であるキューベアを殺害、さらに止めにはいった神官戦士の大半を戦闘不能においやってしまう。	□□□□⑮
	□□□□⑳
	□□□□㉕
	□□□□㉑
	□□□□㉒

